

平成22年度 お茶の水女子大学経営協議会（第1回）議事録

日 時：平成22年4月20日（火）15：00～17：00

場 所：お茶の水女子大学 大学本館2階 第一会議室（213室）

出席者：（学外委員）池田委員、槍田委員、小倉委員、小野委員、北村委員、國井委員

（学内委員）羽入学長、江澤理事、戒能理事、耳塚理事、河村理事、近藤副学長、吉田副学長

（その他）桐村監事、山田監事

1. 開会

○学長より、22年度経営協議会メンバーの紹介及びパワーポイント資料【国立大学法人お茶の水女子大学 経営協議会（平成22年4月20日(火)）】を用いた、本学概要に係る説明があった。

2. 報告事項

（1）平成22年度 年度計画について

○総務機構長より、平成22年度年度計画について、【資料2】に基づき説明があった。

（2）平成22年度 学内予算について

○総務機構長より、平成22年度学内予算について、【資料3-1】～【資料3-4】に基づき、本学の経営・教育方針及び予算内容に関する説明があった。

3. 審議事項

（1）学長選考会議委員の選出について

○総務機構長より、【資料4】に基づき説明があり、国立大学法人お茶の水女子大学学長選考会議規則第2条第1項第1号に基づき、本協議会委員から学長選考会議委員として、足立委員、池田委員、小野委員、北村委員、國井委員を選出した。なお、推薦された足立委員に関しては、本日欠席のため後日了承を得ることとした。

4. その他

○自由討議及び意見交換を行った。

■ 学外委員からの主な意見等は以下のとおり。

- ・ 産業界のリーダーとなれる人材の育成にも力を入れてほしい。
- ・ 国際化の問題として、特に女子大は留学生を率先して受け入れられるような体制作り積極的に取り組むべきではないか。
- ・ 女性の人文・社会科学の研究者が、子育てをしながら研究を続けることを支援していくことを考える必要がある。
- ・ 独立行政法人という組織の一つの大きな経営上の問題として、法人自身のアイデンティティがなくなっていくというリスクが非常に大きいと感じている。
- ・ 日本を再生につなげていくものは大学と大学院であると思っているので、しっかりと応援していきたい。法人化と財政支援は車の両輪であるので、現場からも意見を出す必要がある。
- ・ 日本社会では、女性の高学歴化と社会での女性の活躍とにギャップがある。本学は優秀な女子学生を社会に出していくブリッジの役割を果たすべきであり、卒業生を含めて、女性のライフサイクル全般への応援団であってほしい。
- ・ 広報活動については、「広報戦略」というものをおおもとに据えて、積極的に推進してほしい。
- ・ 女子大学であるからこそ、「変革」を真に議論できる。女性の自己確立の場として、女子大学の役割は大きい。
- ・ 女性リーダーを育成していくことは企業にとっても、多様性という観点で、今後の国際競争力をつけていく中でも非常に有益なことであるので、是非アピールして、高い目標を学生に与えてほしい。

以上